

子どもの未来のために、みんなで考えよう！

家庭内の『事故予防』

日々成長していく子どもたち。成長が楽しみな反面、目が離せなくて保護者のみなさんは心配になることもありますよね。子どもの思わぬ行動が、大きな事故につながってしまうことも…。家庭内の事故は、ちょっとした気配りで予防することができます。今一度、子どもの視点に立って事故の予防について一緒に考えてみませんか。

1位 ころぶ
風呂場、段差、洗面所など

少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。

2位 おちる
階段、窓、ベランダなど

転落防止の柵をつけたり、踏み台になるものを置かないようにしましょう。

3位 たべる
たばこ、筆、電池など

飲み込めそうなものは、手の届くところに置かないように注意しましょう。

4位 ひっかける
ブラインドの紐、水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。

5位 ぶつかる
机の角、テーブルの角など

角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいように工夫しましょう。

6位 やけど
アイロン、熱い飲みものなど

やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。

7位 はさむ
窓、ドア、引きだしなど

危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。

8位 きる
包丁、カミソリなど

使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。

9位 ささる
ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど

ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心がけるようにしましょう。

10位 おぼれる
風呂場の水、ビニールプールなど

水深が浅くても溺れます。少しの時間でも目を離さないように注意しましょう。

**事故の原因を知って
対策をしましょう！**

※発生事例の多い順に番号をつけています。消防庁 救急ポータルサイト 検索 参考資料 | 東京消防庁救急搬送データからみる日常生活事故の実態 |

病院受診を迷った際のお助けツールについて♪

step 1
母子モアプリを開き、下段の『地域の子育て情報』をクリック。



step 2
ページを下下にスクロールし、『お子様の救急相談』をクリック。



step 3
『子ども医療電話相談』『小児救急Q&A』から、受診の必要性を検討する。



☆母子モのダウンロードはこちらから



◎沖縄県の#8000相談時間は？

≪平日≫
午後7時～翌朝8時

≪土日・祝日・年末年始≫
* 24時間対応
* 12月29日～1月3日

うるま市ホームページには、救急法の動画も載せています。ぜひ参考にしてください♪

1. 心臓マッサージ・人工呼吸の流れ
2. AEDの使い方
3. 異物除去の流れ
4. 事故防止について



⚠ 救急車を呼ぶ時は…

- 意識がない・呼吸困難になっている・けいれんがとまらない等の緊急時は救急車を呼びましょう。あわてずに以下の要点を伝えましょう！
- ① 119番に電話し、「救急車をお願いします」と伝える。 ② 来て欲しい場所(住所や目撃場所)・氏名・電話番号を伝える。
 - ③ 子どもの状態を伝える。(何歳児、誰がいつ、どういう状態かなど) ④ 応急手当の指示を受ける。(指示があれば電話を切らずに指示に従う。)
 - ⑤ 周りに協力者を求めます。1人が患者につき添い、協力者は目立つところへ。